

事業コード	H29-建-継-05		区 分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	地方道路交付金事業(改築)		部局課室名	建設部 道路課
事業種別	一次改築(バイパス)		班 名	道路建設班 (tel) 018-860-2492
路線名等	一般国道108号		担当課長名	参事(兼)道路課長 石川 浩司
箇所名	由利本荘市鳥海町矢ノ本		担当者名	副主幹(兼)班長 太田 哲
プランとの関連	政策コード	03	政策名	未来の交流を創り、支える観光・交通戦略
	施策コード	05	施策名	県土の骨格を形成する道路ネットワークの整備促進
	指標コード	03	施策目標(指標)名	地域間ネットワークの構築

1. 事業の概要

事業期間	H25 ~ H31(7年)	総事業費	13.0億円	国庫補助率	65.45	
事業規模	○延長L=1,500m、幅員W=6.5(9.5, 12.0)m((2.50+1.50+3.25+3.25+1.50)m ※一部歩道有り)					
事業の立案に至る背景	○一般国道108号は宮城県石巻市を起点とし秋田県由利本荘市へ至るルートで、日本海側と太平洋側を横断的に結び、産業、経済の地域間交流を促進する重要な路線である。当該区間は第二次緊急輸送道路として位置付けられているほか、病院等へのアクセス道路としての機能も有しているが、幅員狭小(Wmin=5.5m)で最急勾配も6%ときつく、死亡事故を含む交通事故が多発している。 ○道路利用者の安全と、第二次緊急輸送路としての機能を確保するため、早急に整備を行う必要がある。					
事業目的	○大型車のすれ違い困難箇所の解消(観光道路・物流道路) ○第二次緊急輸送路としての機能確保(防災・危機管理) ○現道拡幅及びバイパス整備による安全で円滑な交通の確保 ○通過交通の分離を図り、現道の歩行者、自転車利用者の安全を確保					
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)			計 画 時	評 価 時	増 減	理 由 等
	事 業 費		1,300,000	1,300,000	0	
	経 費 内 訳	工 事 費	940,000	849,000	▲ 91,000	盛土材に発生材を利用したことによる減。
		用 補 費	250,000	315,000	65,000	下水道の補償額算定による増。
		そ の 他	110,000	136,000	26,000	地質調査費の増。
	財 源 内 訳	国庫補助	910,000	850,850	▲ 59,150	
		県 債	351,000	404,200	53,200	
そ の 他						
事 業 内 容		39,000	44,950	5,950		
事業内容		調査・設計 改良工 舗装工 橋梁工	調査・設計 改良工 舗装工 橋梁工		国庫補助率の変更による	
事業の進捗状況	○平成28年度末で事業進捗率37%(用地進捗率は68%)。					
事業推進上の課題	○特になし					
関連する計画等	○由利本荘市総合計画 ○由利本荘市地域公共交通網形成計画					
情勢の変化及び長期継続の理由	○特になし					
事業効果把握の手法及び効果	指 標 名	県管理国道改良率				
	指 標 式	整備率(整備済み延長/路線実延長)				
	指標の種類	○ 成果指標	● 業績指標	低減指標の有無	○ 有 ● 無	
	目 標 値 a	94.5%		データ等の出典	道路課調べ	
	実 績 値 b	93.8%		把握の時期	平成29年 4月	
達成率 b/a	99.3%					

前回評価結果等	<input checked="" type="radio"/> 選定または継続 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 保留または中止
	①指摘事項
	特になし
	②指摘事項への対応
	特になし

2. 所管課の自己評価

観 点	評価の内容 (特記事項)	評 価 点
必 要 性	<ul style="list-style-type: none"> ○当該区間は幅員狭小 (車道幅員 5 m) 及び線形不良 (最小曲線半径 9.5 m) で、最急勾配も 6 % となっており、事故が多発している。 また、冬期堆雪帯がなく、1 年を通じた交通の安全確保が望まれる。 ○通学路指定区間であるが、歩道が未整備の区間があり、車道を歩かざるを得ない。 ○平成 16 年度には死亡事故が発生している。 	12点
緊 急 性	<ul style="list-style-type: none"> ○平成 23 年には土砂崩落により、全面通行止めとなり、広域迂回を余儀なくされている。現道の一部は急傾斜地崩壊危険箇所となっており、災害の危険性を回避するため、早期のバイパス整備が望まれる。 	15点
有 効 性	<ul style="list-style-type: none"> ○第二次緊急輸送道路であり、災害時の避難救助活動や救急医療施設へのアクセス道路としての活用が見込まれ、防災計画上重要な幹線道路である。 ○鳥海国定公園等への広域観光道路としての活用が見込まれる。 	28点
効 率 性	<ul style="list-style-type: none"> ○事業の費用便益比は 1.9 であり、効率性は高い。 ・ 総便益の現在価値 2.6 億円 ・ 総費用の現在価値 1.3 億円 ○当該工区で発生した土を盛土材として流用することでコスト削減を図っている。 	19点
熟 度	<ul style="list-style-type: none"> ○平成 28 年度末の事業進捗率は 37 % である。 	13点
判 定	ランク (<input checked="" type="radio"/> I <input type="radio"/> II <input type="radio"/> III)	87点
	緊急性、有効性が高く、事業は引き続き実施すべきである。	
総 合 評 価	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 中止	
	事業継続は妥当である。	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等 (対応方針)

<p>コスト削減に努めながら、事業を継続する。</p>

4. 公共事業評価専門委員会意見

<p>県の対応方針を可とする。</p>

評価種別 継続箇所評価
適用基準名 道路改築事業 (地域間交流・連携促進)

事業コード (H29-建-継-05)
箇所名 (由利本荘市鳥海町矢ノ本)

1. 評価内訳

観点	評価項目	細別	評価基準	配点	評価点	摘要	
必要性	道路の現状の問題						
	道路構造上の欠陥箇所数	<ul style="list-style-type: none"> 車道幅員<5.5m 最小半径<100m 最急勾配>5% 冬期堆雪中なし 	3箇所以上	8	8	車道幅員5.0m 最小半径95m 最急勾配6% 冬期堆雪幅なし 計 4箇所	
			2箇所	5			
			1箇所	3			
			0箇所	0			
			計				
	道路環境上の欠陥該当項目	<ul style="list-style-type: none"> 現道の混雑度≥1.0 現道の旅行速度≤30km/h 現道の事故率≥50件 通学路指定で歩道なし 重大交通事故が発生 	5件該当	7	4	通学路指定歩道なし 重大事故(H16死亡事故) 計 2箇所	
			4件該当	6			
			3件該当	5			
			2件該当	4			
			1件該当	2			
			該当項目なし	0			
	計		15	12			
	緊急性	道路をとりまく環境等					
		関連事業の有無	<ul style="list-style-type: none"> 県の主要プロジェクト 地域振興プロジェクト ほ場整備等の他事業 	あり	10	10	由利本荘市総合計画 由利本荘市地域公共交通網形成計画
なし				0			
緊急度の高い課題の有無		老朽橋、災害危険箇所、冬期通行不能区間等	あり	5	5	H23土砂崩落による通行止め発生、急傾斜地崩壊危険箇所有り	
	なし		0				
計			15	15			
有効性	道路の位置づけ						
	緊急輸送路		第1次輸送路	10	8	第2次緊急輸送道路	
			第2次輸送路	8			
			第3次輸送路	6			
			指定なし	0			
	救急医療施設へのアクセス		直接アクセスする	10	10	由利組合病院	
			間接的に補充する	6			
			アクセスへの貢献は小さい	3			
	社会変化による事業の必要性		必要性が高い	10	10	・日本海沿岸東北自動車道 象洞～金浦間H27供用 ・H28「鳥海山・飛鳥」 日本ジオパーク認定	
			低下傾向	6			
必要性が低い			3				
計			30	28			
効率性	事業の投資効果等						
	費用便益比 (B/C)		1.0以上	5	5	B/C=1.9	
			1.0未満	0			
	計画交通量		5,000台/日以上	5	5	5,800台/日	
			1,000台/日以上～5,000台/日未満	3			
			1,000台/日未満	0			
	コスト削減		あり	5	5	発生土を盛土材として利用	
			なし	0			
	事業中止による影響		既投資額の損失大	5	4	現道拡幅+バイパス	
			既投資額の部分的損失	4			
既投資額の損失が少ない			3				
計			20	19			
熟度	事業の進捗進捗状況						
	事業の進捗 (事業費)		8割以上完了	10	5	進捗率37%	
			5割以上完了	8			
			1割以上完了	5			
			1割未満	2			
			計				
	用地買収の進捗 (面積)		8割以上完了	10	8	進捗率68%	
			5割以上完了	8			
			1割以上完了	5			
			1割未満	2			
未着手			0				
計			20	13			
合計				100	87		

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	
II	優先度が高い	60点以上～80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		